

第1号はこんな内容です 第2号は4月発行予定で 第3号まで計画しています

感動の家づくり「この家にしてよかった」シリーズ1

NO	県	建設地	テーマ・内容(上段が主題 下段が副題)
1話	東京	東京都秋津市	<b>すてきな家で「燃費半分の暮らし」</b> 東京に建てたQ1.0住宅は夏も冬も想定外の連続、あの東京で、暑くならない夏、寒くならない冬、光熱費は旧住宅の半分以下、住んでびっくり驚きの家
2話	広島	広島県福山市	<b>日本の戸建て住宅がこんなに快適な性能だったとは！</b> 外国帰りの家族が驚嘆 夏冬は全館冷暖房の暮らし、それでいて光熱費はゼロ 温暖な瀬戸内 こんな所にQ1.0住宅
3話	兵庫	兵庫県豊岡市	<b>ふんわりサラサラの暖かさ 山陰の冬が大きく様変わり</b> 兵庫県豊岡は山陰一の寒暖差 冬は寒く夏は猛暑 暮らしの達人主婦がいる家は薪ストーブのトロトロ暖房
4話	愛知	愛知県名古屋市	<b>暖かい家になったら孫子(まごこ)が手をつないでやってくる</b> これが終の棲家 しみじみ思う「この家にしてよかった」素足で暮らせる開放感、街中なのに静か 名古屋の市街地に建った壁200ミリ断熱の家
5話	富山	富山県富山市	<b>路面電車も走る幹線道路沿い 「エッ、ここに建て替えですか？」</b> 住み慣れたところに暮らしたい だけど騒音はどうなる！ いや、ちゃんとした高断熱と高気密なら大丈夫のはず！ 予想通りの結果に家族全員大満足
6話	新潟	新潟県妙高市	<b>住んでわかった！ Q1.0住宅ユーザーの面白語録</b> フェーン現象下でも冷房なし こういう家はお金をかけてもできない 住宅に取説？ 以前の家は夏冬ともビショビショ？！ 軒のつらはら是人災
7話	岩手	岩手県平泉町	<b>家は人生の礎 (いしずえ)</b> 埼玉から岩手へ、体験宿泊ではなく体験移住してから建てたQ1.0住宅 住んでみて、暮らしてみても知った、暖かい家のほんとうの意義と価値
8話	岩手	岩手県滝沢市	<b>これも家づくりの正解！ こだわったのは断熱性能だけ</b> 「ここは寒い所だから断熱だけ力を入れて欲しい 断熱がしっかりしていればあとは何とでもなる」、結果は大正解。マイナス10℃の朝でも楽々モーニング
9話	山形	山形県寒河江市	<b>Q1.0住宅は建ててからが面白い</b> 最初は半信半疑 真冬の帰宅初日、玄関を開けたとき包まれた暖かきの感動「これはほんものだ」 その日から冬を楽しく暮らす工夫が始まった
10話	石川	石川県金沢市	<b>後世に残す二つの住宅遺産 ある高齢教育者の偉業</b> 老人ホームに入る資金を北陸一の高断熱住宅建築に投入、選んだ施工業者は経験の浅い一人の若者。そこには教育者のある想いがあった
11話	青森	青森県八戸市	<b>人生最期の贈り物 「妻に暖かい家を遺したい」</b> 同じ未亡人の友がいう「冷え切った部屋にひとりで帰るときほど淋しいことはない。あなたがうらやましい」余命宣告された夫が遺した暖かい家は、妻の孤独を救った。
12話	栃木	栃木県栃木市	<b>ネットで工務店選び そして大成功</b> 若い2人は住宅展示場で高断熱を教えられ、その日からネットで検索しまくった。そうして選んだ工務店、若者はホームページの何を見たか！
13話	山形	山形県山形市	<b>望んでいた家ができました！家づくりのトレーナーと出会う</b> 暖かいだけでもダメ デザインだけでもダメ 機能的だけでもダメ 若い夫婦が、若い建築家と協働して完成させた家の一部始終、主役はメール。
14話	群馬	群馬県高崎市	<b>【結露のない暖かい家を2000万円建てて欲しい】</b> 「いいですよ、やりましょう」単純明快 リーズナブルに 若い夫婦と工務店の家づくり さわやか高断熱住宅ができました！
15話	新潟	新潟県小千谷市	<b>職人 小千谷の花火師が選んだ家は本物の高断熱住宅</b> 体験宿泊会場で想定外のおもてなし、「そんなつもりで来たんじゃない」「業者選びに失敗したら自己責任だと思おう」花火師の厳しい目が光る
16話	新潟	新潟県阿賀野市	<b>「この家にしてよかった」もう一つの意味</b> 「この町には暖かい家が必要」 過疎高齢化の町で父の工務店を継いだ若い大工の「暖かい家づくりにこだわらる」は、地域に共感を呼んだ
17話	山形	山形県鶴岡市	<b>たしかに暖かくなった！ もう少し安かったらみんなに勧めたい・・・</b> ユーザーのこの一言が安価な断熱耐震同時改修技術の発端になった。断熱リフォームの原点になった15年前の出来事
18話	宮城	宮城県角田市	<b>リフォームで暖かい家にしたい 理系人が選んだ工法と業者</b> 「今までの家がなぜ寒いか、原因を改良すれば家は暖かくなる」セミナーで聞いたこの解説で「これは信用できる」と選んだ理系人のリフォーム術。
19話	福島	福島県須賀川市	<b>東日本大震災時 リフォーム工事中だった人の大幸運</b> 耐震工事で倒壊を免れ、周囲の混乱をよそに、一ヶ月後は快適な高断熱住宅暮らし。それまでの家は新しかったのにあまりにもひどかった
20話	群馬	群馬県高崎市	<b>あの暑い高崎で難なく夏を過ごし、冬も快適</b> 高断熱住宅は、本当に冬暖かくて夏涼しいのか、それを体感追求して3年、そうして知った業界のウソとホント。上手にリフォーム 上手に暮らす熟年夫婦